

*Club Je Pense*

2019年12月講義



人間とは何か



人間の立場から

世界を見ることはあっても  
人間そのものを俯瞰する機会は  
意外と少ないのかもしれない



人間の定義も  
どの立場から語るかで  
意味合いが大きく変わってきます



生物学の立場なら



人間とは…

哺乳類で唯一直立二足歩行を行い  
脳と声帯が発達しており  
ジェスチャーだけでなく  
音声言語や手記言語による  
コミュニケーションが図れる動物



自然人類学の立場なら



人間とは…

ヒト族で唯一現存する  
ホモ・サピエンスであり  
地球上で最も支配的な種として  
繁栄をしている動物



人間学の立場なら



人間学とは…

人間とは何か  
人間の本質とは何か  
という問いに

哲学的思考と実証的調査で  
答えようとする学問



哲学の一種として扱われ

哲学的人間学

とも呼ばれています



人間とは何かという問いは  
古代から問われ続けてきた問題ですが  
近世になるまでは  
神や宇宙を通じてのみ考えられてきた



人間が学問として扱われるのは  
近世哲学の祖であるデカルトによる  
自我概念の発見以降



イマヌエル・カントは  
哲学には

「私は何を知ることができるのか？」

「私は何をすべきなのか？」

「私は何を望むのが良いか？」

「人間とはなんだろうか？」

という4つの問題に対応する分野があるとし  
人間学の立場を明確にした



その後

「人間とは何か？」という問いは  
ヘーゲルの弁証法に受け継がれ  
人間中心的な世界観へと発展



合

ジンテーゼ

止揚

アウフヘーベン

合

ジンテーゼ

反

アンチテーゼ

止揚

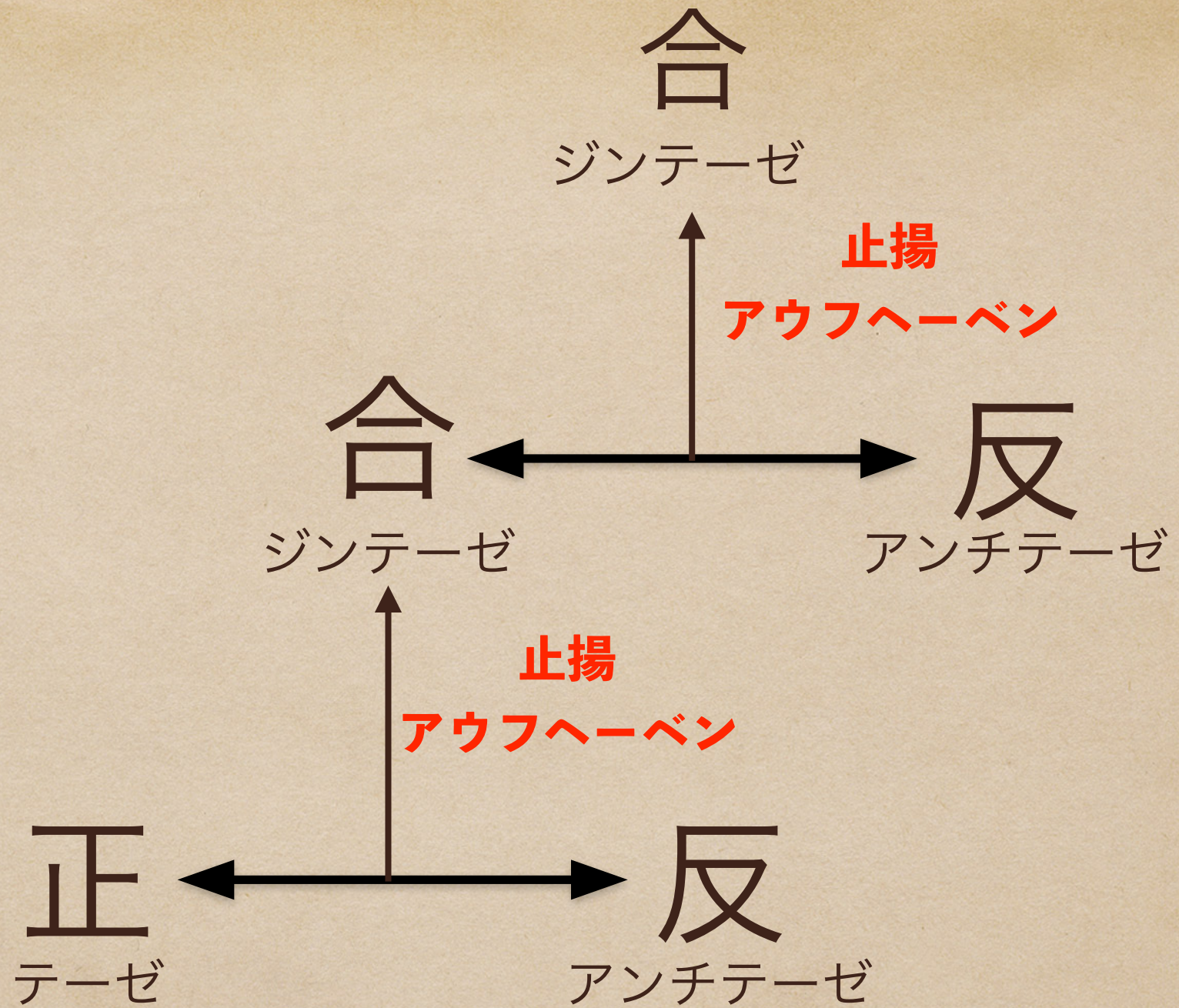
アウフヘーベン

正

テーゼ

反

アンチテーゼ





19世紀に入ると  
ダーウィンの進化論や  
ニーチェの超人への発展段階説など  
脱人間が語られ始める



「人間」という自覚は  
いつから出てきたんでしょう？



そもそも

「人間」という自覚を持って  
日々生きていますか？



「人間が知を求める生き物である」

「人間は考える葦である」

「人間は欲望機械である」

など

様々な哲学者が人間を語ってきました



ポイントは  
「人間が何か」という内容そのものよりも  
人間が人間を定義したがつている事



それはなぜか？



多くの人は  
自分が何者かということを  
示してもらえると安心するから



よって

人を動かそうとするならば

「人間とは何か」

定義していく必要があります



つまじうた  
ないが  
にんげん  
も  
かへ





人間とは何かを示す立場  
と

人間とは何かを示される立場



安定を与える立場

と

安定を求める立場

どちらが安定するか？



「人間とは何か」

という問いをメタ認知するならば



「人間とは何か」という問いは何か？



これを考えることの方が  
「人間とは何か」  
という自体の価値を決める



あなたがより良く生きるための  
「人間」  
の定義はなんでしょう？



また  
あなたが優位に立ちたい場では  
「人間」  
とはどのような定義でしょう？



そこで求められる

「人として」

を理解していますか？



メタポジションを取るためには  
場で求められる「人間」を演じ  
権力を掌握して新しい「人間」を定義する



人間を語る人間になりましょう



ワーク



あなたにとっての「人間」を  
再定義して言語化しましょう



お題その 1

強い (弱い) 人間とは



独自の「強い（弱い）人間」を定義し  
その定義を使って  
ビジネスや人間関係が発展する  
セールストークを考えてください



## お題その 2

賢い（愚かな）人間とは



独自の「賢い（愚かな）人間」を定義し  
その定義を使って  
ビジネスや人間関係が発展する  
セールストークを考えてください



## お題その3

ポストヒューマン（人間以後）とは



独自の「人間以後」を定義し  
その定義を使って  
ビジネスや人間関係が発展する  
セールストークを考えてください